

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	疾病論Ⅳ(感覚器・生殖器)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	半田充・市川博康・津島賢一郎・多田譲治	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
<p>生体の防御・免疫機能や感覚器・生殖器・耳鼻咽喉に障害を生じた場合の疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ</p>					
<p>演習参加状況、レポート課題提出状況、小テスト、並びに筆記試験で総合的に評価する</p>					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
<p>系統看護学講座 専門分野11 アレルギー膠原病 歯 感染症 専門分野12 皮膚 専門分野13 眼 専門分野14 耳鼻咽喉 15 歯・口腔 医学書院 疾病の成り立ちと促進1 病理学 疾病の成り立ちと促進2 薬理学 医学書院</p>					
《授業外における学習方法》					
<p>インターネットや他業者の教科書参照</p>					
《履修に当たっての留意点》					
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	I 外部環境からの防御機能・皮膚障害について説明することができる		系統看護学講座 専門 基礎分野12皮膚 医学 書院	教科書で予習する
	各コマに おける 授業予定	①局所・全身症状、他臓器由来の皮膚疾患 1)主要疾患 アトピー性皮膚炎・麻疹・褥瘡・熱傷 2)主要症状 痒み 痛み 落屑 鱗屑 分泌物 体温調節異常 3)検査・治療 アレルギー検査 パッチテスト 光線過敏症検査 顕微鏡検査 病理組織検査 内服療法 外用療法(軟膏処置)手術療法 光線療法 レーザー療法 放射線療法 凍結療法 4)合併症と予後			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	II 免疫機能の障害について説明できる		系統看護学講座 専門 分野11 アレルギー膠原 病 歯 感染症 医学書 院	教科書・参考書で予習・復 習する
	各コマに おける 授業予定	1自己免疫 2アレルギー性疾患 3免疫不全 1)主要な疾患(膠原病)全身性エリテマトーデス(SLE)・関節リウマチ・シェーグレン症候群・花粉症(アレルギー性鼻炎)・蕁麻疹・接触性皮膚炎・メシチリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) ヒト免疫不全性ウイルス(HIV)感染症2)主要症状 関節痛 関節炎 筋痛 筋力低下 腎炎 血管炎レイノー現象 呼吸器症状 消化器症状 皮膚症状 眼症状 循環器症状 3)検査・治療 一般検査・血清検査・免疫学的検査・穿刺検査・病理学的検査・薬物療法・ステロイド・免疫抑制薬・抗リウマチ薬・抗ウイルス薬			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	III 神経機能障害(感覚器)について説明できる		系統看護学講座 専門 基礎分野13眼14 耳鼻 咽喉 医学書院	教科書・参考書で予習・復 習する
	各コマに おける 授業予定	1. 感覚機能の障害 視覚・聴覚・平衡・臭覚・味覚・知覚障害 1)主要症状 白内障 緑内障 網膜はく離 網膜症 メニエール病 中耳炎 副鼻腔炎 難聴 歯周病 2)主要症状 充血 眼脂 視力障害 屈折異常 耳痛 耳鳴 眩暈 鼻出血 難聴			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	III 神経機能障害(感覚器)について説明できる		系統看護学講座 専門 基礎分野13眼14 耳鼻 咽喉 医学書院	教科書・参考書で予習・復 習する
	各コマに おける 授業予定	3)検査・治療 眼底検査 薬物療法(点眼) 手術療法 平衡機能検査 聴力検査 4)合併症と予後			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	IV 歯・口腔の構造と機能について説明できる		系統看護学講座 専門基礎 分野11アレルギー膠原病	教科書・参考書で予習・復

5 回	我 形式	各コマに おける 授業予定	1歯・口腔の構造と機能 2症状とその病態 疼痛 腫脹 口腔出血 歯の欠損 口臭 顎口腔機能障害など	歯 専門分野15 歯 口腔 医学書院	教科書・参考書による復 習する
授業の 方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	IV歯・口腔の構造と機能について説明できる	系統看護学講座 専門基礎 分野11アレルギー-膠原病 歯 専門分野15 歯 口腔 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	3 検査と治療・処置 4 疾患の理解		
第 7 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	耳鼻咽喉の病態と治療について説明できる	系統看護学講座 専門 基礎分野 I 解剖生理学 4 病理学 専門分 野7成人看護学 脳・神 経 10成人看護学 運 動器 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	1耳鼻咽喉 1)症状と病態生理 2) 診断と検査		
第 8 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	耳鼻咽喉の病態と治療について説明できる	専門分野14 耳鼻咽喉 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	3)主の疾患とその治療法 鼻の疾患、中耳炎 咽頭の疾患		
第 9 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	V生殖機能の障害について説明できる	系統看護学講座 専門基礎 分野 I 解剖生理学 4 病 理学 疾病の成り立ちと促 進1 病理学 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	生殖機能の障害 1女性生殖器 発生から老化の機能的疾患 乳腺の疾患 1)主 要疾患 女性生殖器・乳腺・卵巣嚢腫・腫瘍		
第 10 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	V生殖機能の障害について説明できる	系統看護学講座 専門基礎 分野 I 解剖生理学 4 病 理学 疾病の成り立ちと促 進1 病理学 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	2)主要症状 月経異常・性器不正出血・帯下・腰痛・下腹部痛・更年期症状		
第 11 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	V生殖機能の障害について説明できる	系統看護学講座 専門基礎 分野 I 解剖生理学 4 病 理学 疾病の成り立ちと促 進1 病理学 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	3)検査 病理学的検査 細胞診 卵管造影 超音波検査 基礎体温 ホルモン検 査		
第 12 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	V生殖機能の障害について説明できる	系統看護学講座 専門基礎 分野 I 解剖生理学 4 病 理学 疾病の成り立ちと促 進1 病理学 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	ホルモン療法 薬物療法		
第 13 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	V生殖機能の障害について説明できる	系統看護学講座 専門基礎 分野 I 解剖生理学 4 病 理学 疾病の成り立ちと促 進1 病理学 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	手術療法		
第 14 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	V生殖機能の障害について説明できる	系統看護学講座 専門基礎 分野 I 解剖生理学 4 病 理学 疾病の成り立ちと促 進1 病理学 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	4)合併症と予後		
第 15 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	男性生殖器の疾患	系統看護学講座 専門基礎 分野 I 解剖生理学 4 病 理学 疾病の成り立ちと促 進1 病理学 医学書院	教科書で予習・復習する
		各コマに おける 授業予定	男性生殖器 男性不妊症 勃起障害 陰嚢水腫		